
YAMAHA

取扱説明書

GS1

ごあいさつ

このたびは、GS1をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

GS1は、ヤマハが独自に開発した最新の電子技術を結集し、総力をあげて完成した画期的な鍵盤楽器です。

GS1の大きな特長としては、タッチコントロール機能の採用があげられます。これには、鍵盤をたく指先の強弱によって音量・音色がコントロールできるイニシャルタッチ、さらに、鍵盤を押さえつけることで音量・音色がコントロールできるアフタータッチがあります。従来では考えられなかったこのタッチコントロールにより、まったく新しい音楽表現の展開が可能になりました。

音色は、ヤマハが世界に先がけて開発したFM発振方式の採用によってハイグレードで豊かな響きが得られます。さらに音色のデータを磁気カードによって記憶させられますから、数多くの音色をプリセットすることが可能です。パネル操作も必要最小限のものにとどめ、タッチコントロールによる表現に集中できる設計になっています。

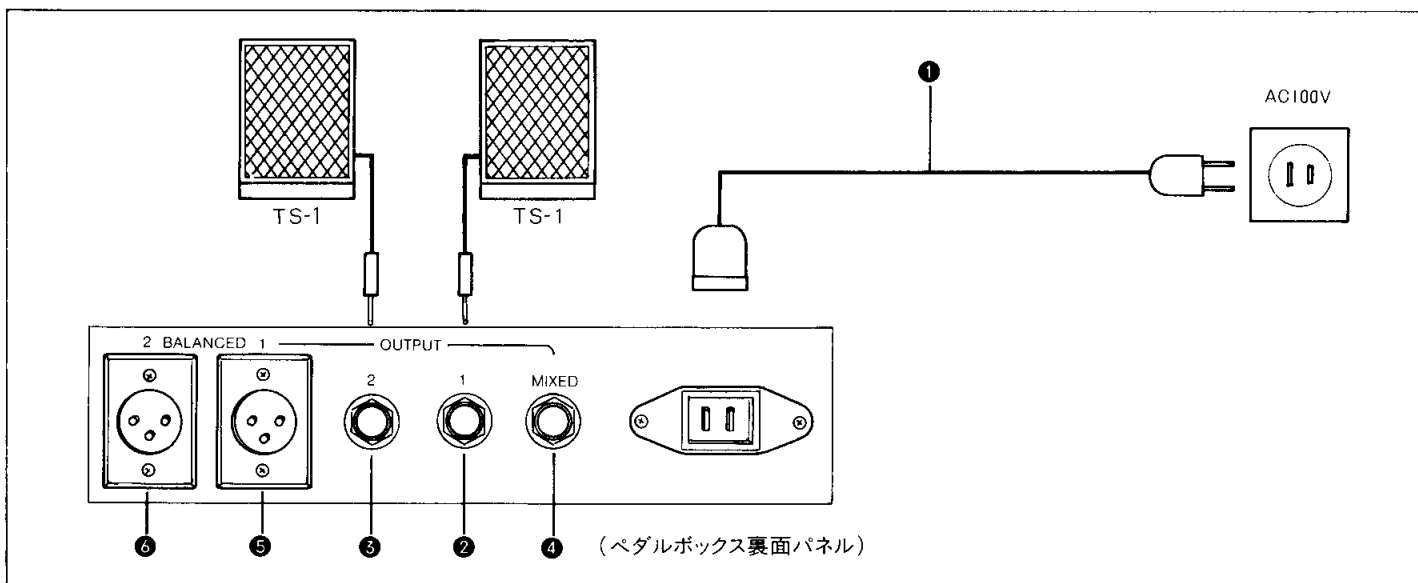
ご使用になる前には、本書をよくお読みのうえ、正しい取扱い方法をご理解くださいますよう、お願いいたします。

目次

接続方法●基本接続	2
●オプション機器の接続	3
パネルの操作方法	4
カードの操作方法	8
取扱い上の注意●音色カード保存上の注意	10
●ミスを起こしやすい操作と解決法	10
●電池交換時の注意	11
●設置上・保存上の注意	11
サービスと保証	12
仕様	13



接続方法



基本接続

GS 1には、パワーアンプは内蔵されていません。このため、ヘッドホンだけを使用するとき以外は、専用のトーンキャビネットなどのパワーアンプ、スピーカーを使用することが必要です。基本接続に使う端子は、フットペダルのうしろにあります。

①電源コード

プラグをAC100Vのコンセントに差し込みます。

②③ 1・2 (スプリット出力)

2台のアンプ/スピーカーを使用するとき、この2つの端子にそれぞれ接続します。GS 1の音源は4系列ですが、そのうち2系列ずつが2つのチャンネルに分かれて出力されます。専用のトーンキャビネットTS-1の他、一般のキーボードアンプ、ギターアンプなどにも接続できます。

④MIXED(ミックスド出力)

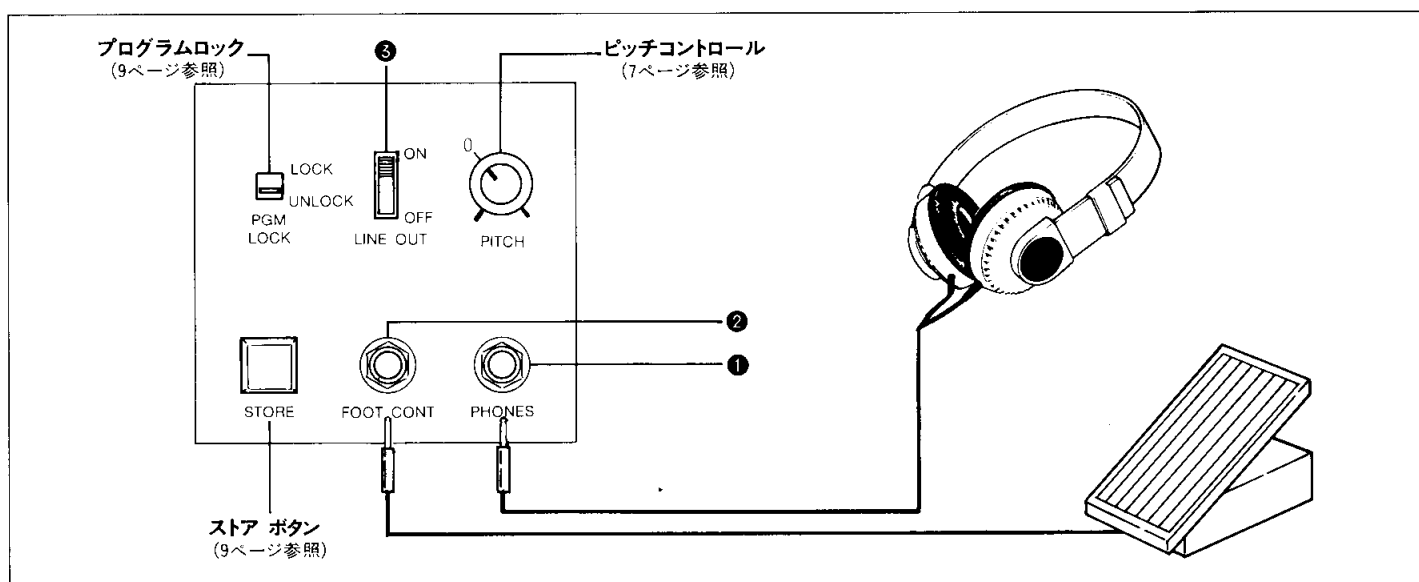
1台のアンプ/スピーカーを使用するとき接続します。2つのチャンネルの音はミックスされて出力します。(0dB)

⑤⑥ BALANCED 1・2(スプリット出力)

接続端子が平衡(バランス)タイプになっているミキサーに接続する出力端子です。この端子からの出力レベルは、少し低くなっています。(-20dB)

★接続の際には、アンプ/スピーカーの電源を切ってから行ってください。

★プラグなどは、しっかりと差し込んでください。不完全な接続は雑音の原因になります。



オプション機器の接続

GS1には、フットコントローラーやヘッドホンを接続することができます。接続端子は、棚板下の右側に付いています。

①PHONES(ヘッドホン出力)

ヘッドホンを接続する端子です。2つのチャンネルの音がミックスされて出力されます。モノラルタイプ、ステレオタイプのどちらでもご使用になれます。

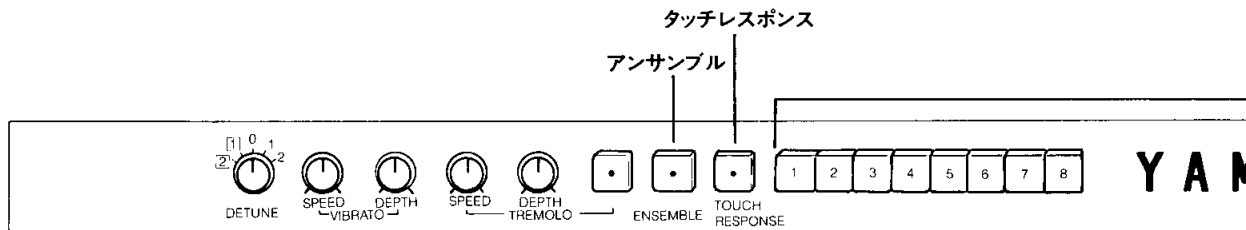
②FOOT CONT.(フットコントローラー接続端子)

フットコントローラーを接続する端子です。フットコントローラーをご使用になれば、演奏中、任意に全体の音量をコントロールすることができます。ヤマハのフットコントローラーFC-3Aがご使用になれます。

③LINE OUT(ラインアウトスイッチ)

このスイッチをOFFにセットすると、トーンキャビネットなどのアンプ/スピーカーへの出力が切られ、スピーカーから音はでなくなります。なお、ヘッドホンからの音は、このスイッチのON/OFFに関係なく得られますから、演奏会のリハーサルや夜間の練習などでは、このスイッチをOFFにセットし、ヘッドホンをご使用ください。

パネルの操作方法



音色セレクター ①～⑱

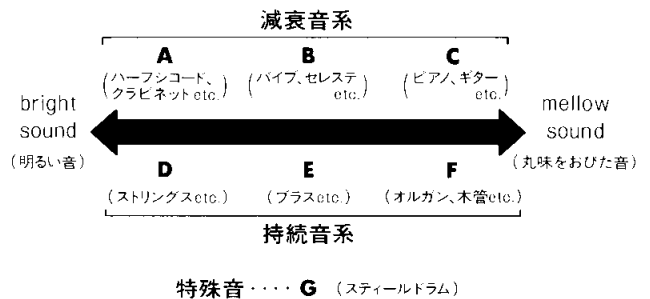
あらかじめセットされている16種類の音色のなかから、音色をひとつ選択するスイッチです。だしたい音色のプリセットされているスイッチを押すと、そのスイッチのランプが点灯し、音色がセットされたことを示します。

★電源スイッチを切っても、音色セレクターにプリセットされている音色は、乾電池の電源によってメモリーされますから、消えることはありません。(11ページ参照)

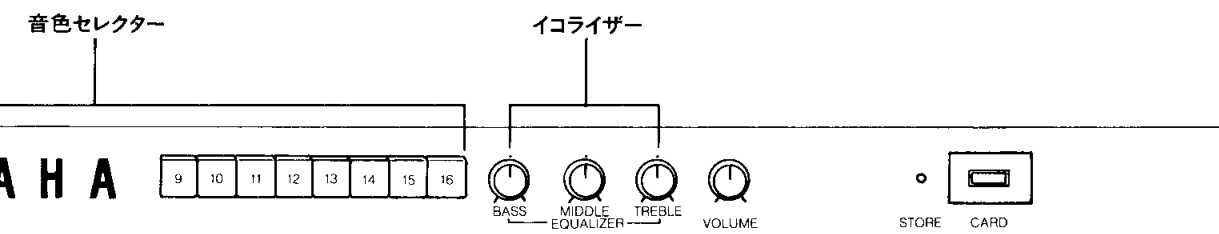
●①から⑱までの音色セレクターにプリセットされている音色は以下のとおりです。これらの音色は、付属の音色カードにも同じものが用意されています。

音色 セレクター ナンバー	カード 番号	音 色
1	A-1	ハーブシコード系の音色
2	A-2	ハーブシコード系の音色
3	A-4	クラビネット系の音色
4	B-1	パイプ系の音色
5	B-2	セレステ系の音色
6	C-1	アコースティックピアノ系の音色
7	C-4	エレクトリックピアノ系の音色
8	C-6	ジャズギター系の音色
9	D-1	ストリングス系の音色(立ち上がりの早いストリングス)
10	D-3	ストリングス系の音色(立ち上がりの遅いストリングス)
11	E-1	ブラス系の音色
12	E-2	ブラス系の音色
13	E-6	ポリシンセブラス系の音色
14	F-1	エレクトロニックオルガン系の音色(ノーマルなオルガン音色)
15	F-2	エレクトロニックオルガン系の音色(ブライتناオルガン音色)
16	F-5	パイプオルガン系の音色

★なお、一般的に音色は左記音色カード番号に分類していますように、A、B、C、D、E、F、G、(8ページ参照)と、7つのジャンルに別れています。この分類はさらに、減衰音系(PERCUSSIVE)、持続音系(CONTINUOUS)、効果音系(EFFECT)の3通りに大別されます。減衰音系とは、ピアノ、ギター、パイプのように、弾いた音量が時間の経過とともに徐々に小さくなっていく音色のことで、GSの音色分類では、A、B、Cにあたります。持続音系とは、オルガン、ストリングスのように弾いた音量が鍵盤をおさえている間持続する音色のことで、GSの音色分類では、D、E、Fにあたります。これらA～Fに属さない特殊な効果音をGに分類しています。また、減衰音系に関して、A→B→Cと切りかえるに従って、音色は明るい音から丸みを帯びた音になります。同様に、持続音系に関して、D→E→Fの順に明るい音から丸みを帯びた音色になります。



★音色カードを操作することによって、16のスイッチにプリセットされている基本の音色を、他のカードの音色に入れ替えたり、音色の順番を変更することができます。(8ページ参照)



TOUCH RESPONSE

アフタータッチスイッチ

選んだ音色に、アフタータッチによる効果をつけられるようにするスイッチです。このスイッチを入れておくと、鍵盤を一度押した後、そのまま鍵盤を押しつけることで、自由に音量がコントロールでき、音色にも変化が与えられます。このアフタータッチは、1音1音別々にコントロールすることができますから、ある音だけを強調し、音色を変化させるような演奏も可能です。

イニシャルタッチコントロール

GS1では、鍵盤をたたく指のタッチで、音の立ち上がりをコントロールすることができます。つまり、アコースティックピアノのように、弱く鍵盤をたたけば弱く、強くたたけば強く音がでてきます。さらに、このイニシャルタッチでは、アフタータッチと同様に音量とともに音色も変化します。

★アフタータッチ、イニシャルタッチとも、選んだ音色により、音量・音質の変化する程度は異なります。

EQUALIZER

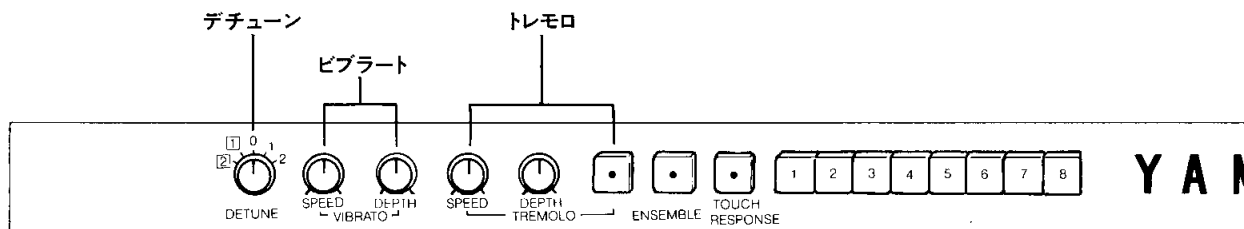
イコライザーコントロール

音色セクターで選んだ音のトーンをコントロールする機能です。3つのツマミで、選んだ音に含まれている低音、中音、高音の成分を、それぞれコントロールしてください。例えば、**BASS**のツマミを右に回すと、その音に含まれている低音の成分が強調され、左に回すと、逆に弱められます。同様に、**MIDDLE**のツマミで中音の成分を、**TREBLE**のツマミで高音の成分をコントロールします。

ENSEMBLE

アンサンブル効果

音色セクターで選んだ音に、広がりや奥行きをもたせる効果です。電子遅延素子を使った回路により、微妙な音のずれ(位相変調)をつくりだし、音色全体を豊かな響きにします。



DETUNE

デチューン効果

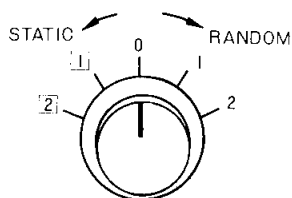
GS1の音色は、4系列の音がミックスされたもので、2系列ずつが2つのチャンネルに分かれています。この2つのチャンネルの音程(周波数)を、わずかにずらすことで得られるのがデチューン効果です。中央の[0]がOFFの状態、右にセットするか、左にセットするかで、次の2種類のデチューン効果が得られます。

●STATIC(スタティックデチューン)

左にセットするとスタティックデチューン効果が得られます。これは、音程のずれかたが一定にセットされるデチューン効果で、**2**は**1**よりデチューンの幅が大きくなります。

●RANDOM(ランダムデチューン)

右にセットするとランダムデチューン効果が得られます。これは、音程のずれかたが鍵盤を押すタイミングによって、さまざまに変化するデチューン効果で、より自然な立体感をつくりだすことができます。音程のずれかたは、どの鍵盤をどういうタイミングで押すかによって決定されます。なお、2は1よりデチューンの幅が大きくなります。



TREMOLO

トレモロ効果

音量を小さく変化させ、豊かな感じの音色にする効果機能で、ON/OFFはフットペダルでもコントロールすることができます。

●SPEED(スピード)

トレモロの速さをセットするつまみで、右に回すほど速くなります。

●DEPTH(デプス)

トレモロの深さ(音量の変化幅)をセットするつまみで、右に回すほど深くになります。

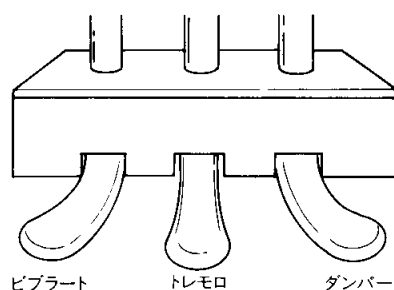
●TREMOLO(トレモロスイッチ)

DEPTHの右にあるスイッチを入れると、SPEEDとDEPTHのつまみでセットしたトレモロがかかります。演奏中、ずっとトレモロ効果をかけたいときに押してください。

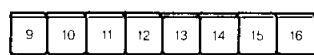
●トレモロペダル

3つあるフットペダルのうち、中央がトレモロペダルです。このペダルを踏むことで、SPEEDとDEPTHのつまみでセットしたトレモロ効果が、演奏中、任意に得られます。

★パネルのトレモロスイッチのボタンをセットしていると、トレモロがかかったままの状態になり、トレモロペダルでON/OFFをコントロールできなくなります。トレモロペダルでコントロールしたいときは、トレモロスイッチを切ってください。



A H A



BASS



MIDDLE



TREBLE



VOLUME

ボリューム



STORE

CARD

VIBRATO

ビブラート効果

全体の音程を小さきみに変化させ、音にうるおいをもたせる効果で、フットペダルでON/OFFをコントロールします。

●SPEED(スピード)

ビブラートの速さをセットするつまみで、右に回すほど速くなります。

●DEPTH(デプス)

ビブラートの深さ(音程の変化幅)をセットするつまみで、右に回すほど深くなります。

●ビブラートペダル

3つあるフットペダルのうち、左がビブラートのペダルです。このペダルを踏むことで、SPEEDとDEPTHのつまみでセットしたビブラート効果が、演奏中、任意に得られます。

DAMPER

ダンパーペダル効果

鍵盤から指をはなした後、音をゆるやかに減衰させる効果で、フットペダルによってコントロールします。3つあるフットペダルのうち、右がダンパーペダルです。このペダルを踏むことで、演奏中、アコースティックピアノと同じような効果が得られます。

VOLUME

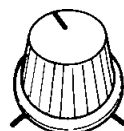
ボリュームコントロール

全体の音量をコントロールするつまみで、右に回すほど大きくなります。

PITCH

ピッチコントロール

全体の音程をコントロールするつまみで、柵板下についています。左に回すと低くなり、右に回すと高くなりますから、他の楽器と共演する場合などには、このつまみでピッチを調整してください。



PITCH

音色カードの操作方法

GS 1 では、音色セクターに16種類の音色がプリセットされていますが、音色カードを使うことで、他の音色に入れ替えたり、プリセットされている音色をカードに記憶させることが、自由に行なえます。

音色の入れ替え操作

ROAD

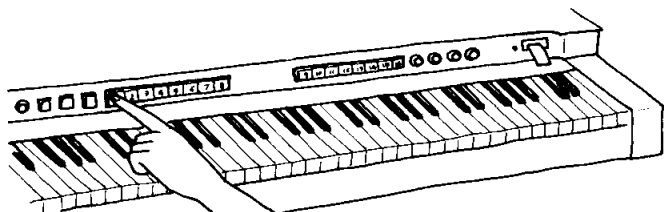
音色カードに記憶されている音色を、GS 1 の音色セクターにプリセットしたいときは、以下のように操作してください。

1. 音色カードをAの向きにして差し込みます。

カードは、CARDの表示がある挿入口から差し込み、奥にぶつかるまで押してください。カードを入れることで、読み取り(ROAD)の機能が働く状態になります。

2. プリセットしたい番号の音色セクターを押します。

するとモーターが回転しはじめますから、音色カードを軽く押してください。音色カードが内部に入り、読み取り(ROAD)が開始されます。読み取られるのは、Aのトラックに記憶されている2系列分のデータです。読み取りが完了すると、音色カードは自動的にでてきて、音色セクターのランプがゆっくりと点滅します。



3. 次に音色カードをBの向きにして差し込みます。

カードをいったん取りだし、向きをかえて挿入口に差し込みます。するとカードは内部に入り、Bのトラックに記憶されている2系列分のデータが読み取られます。読み取りが完了すると、カードは自動的にでてきます。

★以上の操作をしても、音色カードに記憶されている音色が消えることはありません。

★正常に読み取り機能が働かなかった場合は、音色セクターのランプが速く点滅します。(10ページ参照)

●付属のカードに記憶されている音色

通し ナンバー	カード 番号	音 色
①	A-1	ハーブシコード系の音色 I
②	A-2	ハーブシコード系の音色 II
3	A-3	クラビネット系の音色 I
④	A-4	クラビネット系の音色 II
⑤	B-1	パイプ系の音色
⑥	B-2	セレステ系の音色
7	B-3	エレクトロニックピアノ系の特殊音色 I
8	B-4	エレクトロニックピアノ系の特殊音色 II
⑨	C-1	アコースティックピアノ系の音色 I
10	C-2	アコースティックピアノ系の音色 II
11	C-3	アコースティックピアノ系の音色 III
⑫	C-4	エレクトリックピアノ系の音色 I
13	C-5	エレクトリックピアノ系の音色 II
⑭	C-6	エレクトリックピアノ系の音色 III (ジャズギター系)
15	C-7	エレクトリックピアノ系の音色 IV
⑮	D-1	ストリングス系の音色 I (立ち上がりの早いストリングス)
17	D-2	ストリングス系の音色 II (立ち上がりの早いストリングス)
⑮	D-3	ストリングス系の音色 III (立ち上がりの遅いストリングス)
19	D-4	ストリングス系の音色 IV
⑳	E-1	ブラス系の音色 I
㉑	E-2	ブラス系の音色 II
22	E-3	ブラス系の音色 III
23	E-4	ポリシンセブラス系の音色 I
24	E-5	ポリシンセブラス系の音色 II
㉕	E-6	ポリシンセブラス系の音色 III
26	E-7	ポリシンセブラス系の音色 IV
㉗	F-1	エレクトロニックオルガン系の音色 I (ノーマルなオルガン音色)
㉘	F-2	エレクトロニックオルガン系の音色 II (ブライتناオルガン音色)
29	F-3	フルート系の音色
30	F-4	クラリネット系の音色
㉑	F-5	パイプオルガン系の音色
32	G-1	スティールドラム系の音色

以上のようにGS 1 の音色カードは、A-4枚、B-4枚、C-7枚、D-4枚、E-7枚、F-5枚、G-1枚、計32枚という構成になっています。また、通しナンバーに丸印のある音色はGS 1 に最初からプリセットされている音色です。(4ページ参照)

複製カードをつくる操作 STORE

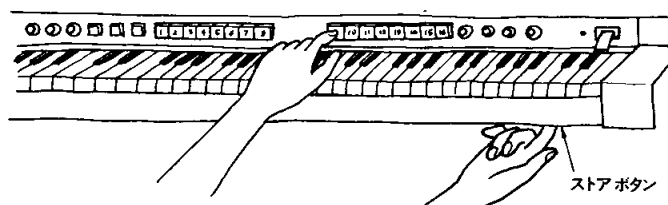
GS 1 の本体にプリセットしている音色を、音色カードにコピーすることもできます。付属のブランクカード(音色が記憶されていないカード)に音色を記憶させ、32の音色カードとは別に保存しておけば、まちがえてカードの音色を消してしまった場合などでも安心です。

1. 音色カードをAの向きにして差し込みます。

カードは挿入口の奥にぶつかるまで押してください。

2. STORE (ストア) ボタンを押しながら、コピーしたい音色が入っている音色セレクターを押します。

すると、カード挿入口の横にあるSTORE LEDが点灯し、モーターが回転しはじめますから、音色カードを軽く押してください。音色カードが内部に入り、書き込み(STORE)が開始されます。書き込まれるのは、押した音色セレクターにプリセットされていた音色データの半分(2系列)です。Aトラックの書き込みが完了すると、カードは自動的にでてきます。



★必ずSTOREボタンを先に押し、そのまま音色セレクターを押してください。先に音色セレクターを押すと、読み取り機能が働いてしまいます。

★STORE時は、カードが2往復します。

3. 音色カードをBの向きにして差し込みます。

Bのトラックに残りの2系列分の音色データが書き込まれ、完了すると自動的にカードがでてきます。

★すでに音色が記憶されているカードを使った場合は、前に記憶された音色が自動的に消されます。

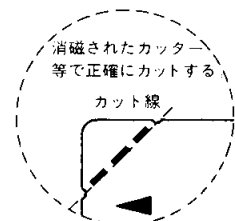
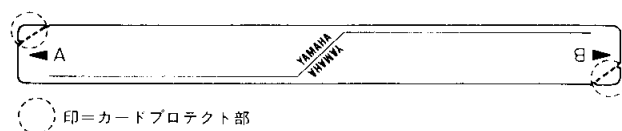
★正常に書き込み(ストア)動作が行なわれなかった場合は、音色セレクターのランプが速く点滅します。(10ページ参照)

●GS 1 本体にプリセットした音色の保護

ストアボタン手前にあるPGM LOCK(プログラムロック)のスイッチを使えば、音色セレクターにプリセットしている音色を保護することができます。このスイッチをLOCK側にセットしておけば、入れ替え操作によって、誤まって音色が消されてしまうような事故が防げます。

●音色カードに記憶されている音色の保護

音色カードの左上と右下の角を切り落としておけば、カードに記憶されている音色を保護することができます。もし誤まって複製カードをつくる操作をしても、このカードプロテクト部をカットしておけば、記憶されている音色が消されることはありません。



取扱い上の注意

音色カード保存上の注意

音色カードは、磁気によって音色が記憶されていますから、その取扱いには注意が必要です。特に以下の点に気をつけ、大切に保存してください。

●カードを折ったり、キズつけたりしないでください。

カードがいたむと、誤動作を起こす原因となります。

●強い磁場に近づけないようにしてください。

大出力のアンプ/スピーカーなど、強く磁気が作用している場所に近づけると、音色カードに記憶されている音色が消えてしまうことがあります。磁気ネックレス、リングなどとの接触もさけてください。

●シンナーなどの溶剤がかかからないようにしてください。

溶剤が含まれた薬品がかかると、カードが破損されてしまいます。

●音色カードは、大切に扱えば1000回前後の使用が可能です。

もし、それまでにすり切れて、いたみがひどくなった場合には、新しいカードに複製し、交換してください。

●音色カードを持ち運ぶときや、保存するときには、付属の専用ケースをお使いください。

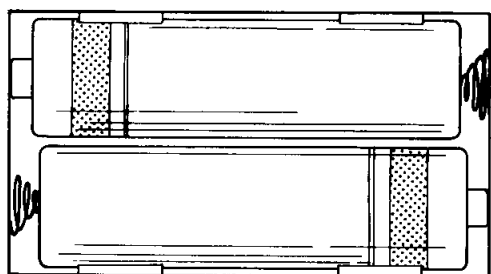
ミスを起こしやすい操作と解決法

現象	原因と解決法
ビブラートがかからない。	ビブラートは、左のフットペダルを踏まないとかかりません。また、DEPTH が最小になっていると、フットスイッチを踏んでもかかりません。
フットペダルでトレモロがコントロールできない。	パネルのトレモロスイッチが入っていると、トレモロ効果がかかったままの状態になり、フットペダルでのコントロールはできなくなります。演奏中フットペダルでコントロールしたいときは、パネルのスイッチは切ってください。ただし DEPTH と SPEED はセットします。
読み取り機能または書き込み機能が働かない。	音色カードを、挿入口の奥にぶつかるまで差し込まないと、読み取り機能、書き込み機能は働きません。必ずカードを奥に差し込んでから音色セレクターを押してください。
	破損したカードや磁気によって音色が消えてしまっているカードを使ったときには、誤動作を起こします。このような場合には、音色セレクターのランプが速く点滅しますから、正常なカードを使って操作してください。
	正常なカードでも、ごくまれに誤動作を起こすことがあります。この場合には、もう一度カードを入れ直してください。
	PGM LOCK のスイッチが LOCK 側にセットされていると、音色の入れ替えはできません。また、角を落しているカードにストアすることはできません。

電池交換時の注意

GS1では、本体にプリセットしている音色のメモリー用に、乾電池2個を使用しています。電池の寿命は約2年間ですが、交換の際には以下の点に注意してください。

- 必ずGS1本体のパワースイッチを入れた状態で、交換してください。もし電源を切って交換した場合、すべての音色が消えてしまいますので注意してください。
- 電池は、単3アルカリ電池(1.5V)を使ってください。
- ⊕⊖の向きをまちがえないように電池を入れてください。



STORE(ストア)LED点滅

GS1使用中STORE(ストア)LEDが点滅すると乾電池が消耗していますので交換して下さい。

設置上、保守上の注意

設置場所について

次のような場所でご使用になりますと、故障などの原因となりますのでご注意ください。

- 窓際など直射日光の当る場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所。
- 湿気やホコリの多い場所、温度の特に低い場所。

電源コードも大切

コードの断線やショートを防ぐため、電源プラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグをもって抜いてください。旅行などで長期間ご使用にならないときは、プラグをコンセントから外してください。

外装のお手入れは

お手入れのとき、外装をベンジンやシンナー系の液体で拭いたり、近くでエアゾールタイプの殺虫剤を散布したりすることは避けてください。お手入れは必ず柔らかい布で乾拭きするようにしてください。

接続は充分注意して

2、3ページの接続のしかたをよく読み正しく接続してください。誤った接続をすると本機や接続した機器の故障の原因となることがあります。ご注意ください。

落雷に対する注意を

落雷などのおそれがあるときは、早めに電源コードをコンセントから抜きとってください。

他の電気機器への影響について

GS1はデジタル回路を多用しているため、ごく近くでラジオやテレビなどの電気機器を同時にご使用になりますと、雑音や誤動作の原因となることがあります。ラジオやテレビなどの電気機器から充分離してご使用ください。

★この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保管して下さい。

サービスと保証

●保証

GS1の保証期間は、保証書によりご購入から1か年です。(現金、ローン、月賦などによる区別はございません。)また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客さまのご住所、お名前、お買い上げ年月日、販売店名などが記入されている事を必ずご確認ください。無記入の場合は無効になることがありますので、くれぐれもご注意ください。

●保証書は大切にしましょう!

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客さまに、ご購入の日から向う1か年間の無償サービスをお約束申しあげますが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させていただきますこととなります。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますように充分ご配慮のうえで保管してください。また、保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。後々のサービスに際しての機種判別や、サービス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合は、お求めになられた販売店あるいは、日本楽器支店の電音サービス係までご連絡いただければ技術者が修理、調整にうかがいます。この際、必ず保証書をご提示ください。お求めの販売店から遠方に移転される場合は、事前に弊社支店までご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申しあげますと同時に、引き続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続きいたします。

●保証期間後のサービス

満1か年の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は最低8年となっています。

そのほかご不明の点などございましたら、右記ヤマハサービス網までお問い合わせください。

●サービス網

- 東京支店 電音サービス係 ☎(03) 572-3341
東京都中央区銀座7-11-3矢島ビル
- 横浜支店 電音サービス係 ☎(045)212-4852
横浜市中区本町6-61-1
- 千葉支店 電音サービス係 ☎(0472)47-6611
千葉市千葉港2-1千葉中央コミュニティセンター内
- 関東支店 電音サービス係 ☎(0273)27-3322
高崎市歌川町8番地高崎センター内
- 大阪支店 電音サービス係 ☎(06) 877-5151
大阪府吹田市新芦屋下1-16
- 神戸支店 電音サービス係 ☎(078)232-1111
神戸市中央区浜辺通り6丁目1-36
- 四国支店 電音サービス係 ☎(0878)33-2233
高松市西宝町2丁目6-44
- 名古屋支店 電音サービス係 ☎(052)231-2432
名古屋市中区錦1-18-28
- 北陸支店 電音サービス係 ☎(0762)43-5341
金沢市泉本町7-7
- 九州支店 電音サービス係 ☎(092)472-2151
福岡市博多区博多駅前2-11-4
- 北海道支店 電音サービス係 ☎(011)512-6114
札幌市中央区南十条西1-4
- 仙台支店 電音サービス係 ☎(0222)95-6111
仙台市原町南目薬師堂北2-1
- 広島支店 電音サービス係 ☎(08287)4-3787
広島市安佐南区祇園町西原2205-3
- 浜松支店 電音サービス係 ☎(0534)56-9211
浜松市東伊場2丁目14-1 ヤマハエレクトーン
ステレオサービスセンター

仕様

■一般

鍵盤……………88鍵(A₁~C₇) 7 $\frac{1}{3}$ オクターブ
質量反力木製鍵盤
音源……………FM方式 4CARRY4MODULATION 8EG
同時発音数…16音

■コントロールパネル

デチューン……………STATIC2・1・0・RANDOM 1・2
ビブラート……………SPEED(4~10Hz)
DEPTH
トレモロ……………SPEED(0.8~10Hz)
DEPTH
ON/OFFスイッチ
アンサンブル……………ON/OFFスイッチ
タッチレスポンス…ON/OFFスイッチ
音色セレクター……………[1]~[16]
イコライザー……………BASS(±12dB at 100Hz)
MIDDLE(±12dB at 600Hz)
TREBLE(±10dB at 6KHz)
ボリューム
カードリーダー……………2パス/音色
ストアLED

■ペダル

ビブラートペダル…(ON)/OFF
トレモロペダル…(ON)/OFF
ダンパーペダル…(ON)/OFF

■ベースパネル

マスターピッチ……………438Hz~452Hz
ヘッドホンジャック…8Ω MIXED OUT
フットコントロールジャック
プログラムロック…LOCK/UNLOCK
ラインアウト……………ON/OFF
ストア……………ON/OFFスイッチ

■入出力端子

AC IN……………100V AC50/60Hz
アウトプット…MIXED(0dB)
スプリット UN BALANCED 1・2(0dB)
スプリット BALANCED 1・2(-20dB)

■その他

パワースイッチ……………ON/OFF
定格消費電力……………75W
寸法……………間口 1,500mm
奥行 832mm
高さ 826mm
重量……………90kg(本体のみ)
付属品……………音色カード(32)
blankカード(8)
音色カードケース
専用椅子
電源コード
譜面板

本社・工場／〒430 浜松市中沢町10-1
 TEL. 0534(65)1111
 東京支店／〒104 東京都中央区銀座7-9-18/パールビル内
 TEL. 03(572)3111
 銀座店／〒104 東京都中央区銀座7-9-14
 TEL. 03(572)3131
 渋谷店／〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-7/新大宗ビル
 TEL. 03(476)5441
 池袋店／〒171 東京都豊島区南池袋1-24-2
 TEL. 03(981)5271
 池袋店 〒170 東京都豊島区東池袋1-30-1/ブランズウィックスポーツガーデン
 兼ショップ TEL. 03(983)9914
 ヤマハ吉祥寺／〒180 武蔵野市吉祥寺本町1-10-1/いなりやビル
 センター TEL. 0422(21)7182
 横浜支店／〒231 横浜市中区本町6-61-1
 TEL. 045(212)3111
 横浜店／〒220 横浜西区南幸2-15-13
 TEL. 045(311)1207
 千葉支店／〒260 千葉市千葉港2-1/千葉中央コミュニティセンター内
 TEL. 0472(47)6611
 関東支店／〒370 高崎市歌川町8番地/高崎センター内
 TEL. 0273(27)3366
 大阪支店／〒564 吹田市新芦屋下1-16
 TEL. 06(877)5151
 心齋橋店／〒542 大阪市南区心齋橋筋2-39
 TEL. 06(211)8331
 梅田店／〒530 大阪市北区梅田1-3-1/大阪駅前第一ビル
 TEL. 06(345)6557
 神戸支店／〒651 神戸市中央区浜辺通6-1-36
 TEL. 078(232)1111
 神戸店／〒650 神戸市中央区元町通2-7-3
 TEL. 078(321)1191
 四国支店／〒760 高松市西宝町2-6-44
 TEL. 0878(33)2233
 丸亀町店／〒760 高松市丸亀町8-7
 TEL. 0878(51)7777
 名古屋支店／〒460 名古屋市中区錦1-18-28
 TEL. 052(201)5141
 北陸支店／〒921 金沢市泉本町7-7
 TEL. 0762(43)6111
 九州支店／〒812 福岡市博多駅前2-11-4
 TEL. 092(472)2151
 福岡店／〒810 福岡市中央区天神1-11/福岡ビル内
 TEL. 092(721)7621
 小倉店／〒802 北九州市小倉北区魚町1-1-1
 TEL. 093(531)4331
 北海道支店／〒064 札幌市中央区南十条西1-4/ヤマハセンター内
 TEL. 011(512)6111
 仙台支店／〒983 仙台市原町南目薬師堂北2-1
 TEL. 0222(95)6111
 仙台店／〒980 仙台市一番町2-6-5
 TEL. 0222(27)8511
 広島支店／〒730 広島市中区基町13-13/平和生命広島ビル8F
 TEL. 0822(21)4122
 浜松支店／〒430 浜松市田町32/東京海上ビル
 TEL. 0534(54)4116
 浜松店／〒430 浜松市鍛冶町122
 TEL. 0534(54)4111



YAMAHA

日本楽器製造株式会社